



新年のごあいさつ

常務取締役徳之島事業本部長

岩淵 達夫



の生産量を上げて行くことが、解決への近道であると考えます。

今期は台風被害による登熟の遅れから年明け操業となりましたが、それぞれが抱える

事情の中で完全とはいかない明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます

私は昨年11月に弊社の株主総会において常務取締役徳之島事業本部長に就任いたしました。

23/24年度のサトウキビ生産量は約14万3千トンといふ記録的な不作による大打撃を受け、その立て直しに取り組んでいる最中、今製糖期も襲来が相次ぎ、24/25年度の収量は昨年を更に下回る約14万1千トンが予想されます。このような状況下、農家の单収が上がり、トータルキン



台風被害による
圃場内の飛散金物除去のお願い

一方、鹿児島県の製糖会社で組織しております「日本甘蔗糖工業会」においても、農林水産省に対し「キビの生産・甘しや糖業の安定化に関する要請書」を提出し、要請行動に注力しております。勿論TPP反対の立場で取り組んでおりますことは言うまでござります。このほどよろしくお願い申します。

平成24/25年期 製糖日程

1 キビ処理見込量	14万164t
2 搬入開始	平成25年1月16日(水)(伊仙工場) 平成25年1月22日(火)(徳和瀬工場)
3 洗缶日	平成25年2月13日(水)(両工場)
4 原料搬入休止 (春植推進日)	平成25年3月4日(月)～平成25年3月13日(水)(伊仙工場) 平成25年3月11日(月)～平成25年3月20日(水)(徳和瀬工場)
5 搬入終了予定	平成25年4月2日(火)(伊仙工場) 平成25年4月7日(日)(徳和瀬工場)
6 製糖日数予定	83日

生命力を見た島の宝サトウキビ

東京大学大学院農学生命科学研究所

博士課程2年 今井 麻子



新年あけましておめでとうございます。一昨年より、農畜産業振興機構との共同調査で「電腦

手帳の生産実績データを生かしたサトウキビの生産効率性分析」のため、徳之島の皆様に大変お世話になっています。戸数を超えるサトウキビ生産者の皆様にアンケートのご協力を頂きました。改めて感謝申し上げます。

昨年の8月には1ヶ月間の滞在の中で、南西糖業の皆様にデータ構築において多くのご尽力を賜り、また12月には100戸を超過するサトウキビ生産者の方々にアンケートのご協力を頂きました。改めて感謝申し上げます。

滞在中に、大型の台風襲来を初めて経験し、南西諸島における気象条件の厳しさを、また、自然災害の後にも尚、青く茂るサトウキビを見て、南西諸島におけるサトウキビの基幹作物としての重要性を目の当たりにしました。

また、アンケート調査では農家の皆様に直接お話しをうかがう中で、地域経済におけるサトウキビの重要性を改めて知る機会となりました。徳之島で学ばせて貰った多くのことを、今後の研究について精進してまいります。

最後に、本年が皆様にとってご多幸な年となりますようご祈念申し上げます。

春植え単収見込み量が約8トンの農家に学ぶ基本技術

鹿児島県徳之島事務所農業普及課 技術専門員 朝 倉 由美子

本年は植付け作業の遅れや、生育初期の日照不足による茎数の不足、15～17号台風による葉の裂傷や倒伏、茎の折損などの影響で昨年に引き続き単収、品質ともに低い状況です。しかしそのような中でも、まわりが目を見張るほど高い単収が見込まれる春植えほ場があります。そのほ場の耕作者中島勝志さんに取材しました。「サトウキビ栽培の良いところはやっただけ答えてくれる。生長が楽しみ。」と語ってくださいり、サトウキビへの思いが伝わりました。

高単収のコツは下記の基本技術でした。皆様方の参考になるかと思います。

<気をつけている6つのコツ>

- 1, 新植時に堆肥を必ず入れる！
- 2, 春植えは早期（2月末）に植え付ける！
- 3, 植え付け時は健全苗を選ぶ！
 - ・苗は肥料袋に入れておき、健全な苗を選んで手植えで植える（欠株はほとんどない）。
- 4, 雑草を生やさない！
 - ・植え付け後化学肥料を4回に分施し同時に耕耘する。
 - ・株もとの草も残さず手で抜き取り種子を落とさない。
- 5, 培土作業は梅雨入りまでに終わらせる！
- 6, 時間を見つけてほ場を見回る！

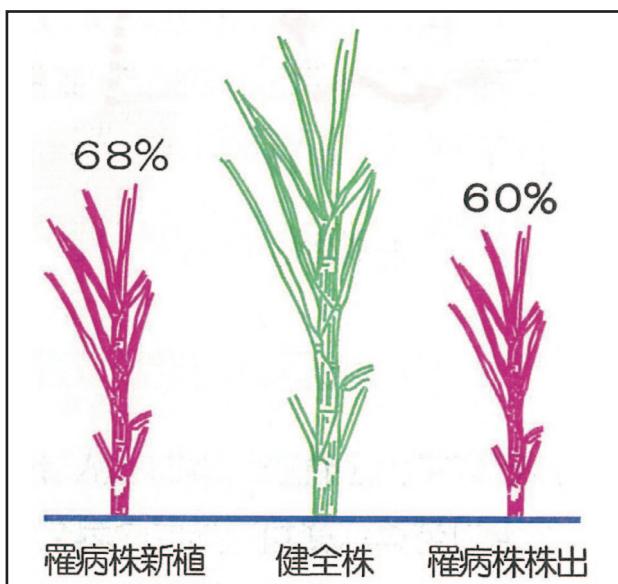
<同ほ場の12月13日現在の単収見込み>
(植付け後 約290日目)

$$\begin{aligned}
 &1\text{m}^2\text{当たりの茎数} &&1\text{茎の重さ} \\
 &9.8\text{本}/\text{m} \div \text{畦幅 } 1.2\text{m} \times 1.02\text{kg} \times 1000 / 1 \\
 &= 8,330\text{kg} / 10\text{a} \rightarrow \text{単収約8トン}
 \end{aligned}$$



天城町松原 中島勝志さんのは場

またした苗を植えると、発芽して、も感染する。た苗に更にアブラムシがウイルスを運び、近隣の畑にも伝染させてしまった。



良い苗選びは、単収向
上の第一歩、植付けにど
のように苗を使っていま
すか？
左図は、健全株とウイ
ルス罹病株との収量比較
(原料茎重)です。
ウイルス病は発病して
いても気付きにくく、農
薬などで治すこともでき
ず、どんなに丁寧な管理
作業をしても单収向上に
つながりません。
また、ウイルスに感染

あります。ウイルス病の対策には、優良種苗を植え付ける事が最も効果的です。また植付け苗には、原苗由来またはメリクローン苗由来の種苗を活用します。

優良種苗は発芽も良好初期生育の良し悪しで収量は大きく変わります。今年の春植えは苗選びから始めて増収を目指します。

サトウキビ増産、

優良種苗で単収向上！

メイチュウ・ハリガネムシ対策

近年、徳之島全域でメイチュウによる被害が拡大し、サトウキビ減収の一つの要因となっています。春植、株出ほ場の防除を徹底し单収の高いサトウキビを作りましょう。

☆防除のポイント

1. サトウキビ畑の回りの雑草を刈り取る。(特にイネ科雑草)
→メイチュウ類が集まる場所をほ場の周りに作らない。
 2. 植付時及び中耕培土時に農薬を散布する

時 期	農 薬 名	散 布 量	回 数
植付時	プリンスベイト	6Kg / 10a	1回
中耕時	オンコルOK粒剤	6Kg / 10a	1回
培土時	アドバンテージS粒剤	6Kg / 10a	1回

3. 植付後はセンコル水和剤かカーメックスDを散布し雑草の発生を抑える。
株出ほ場についても早期管理作業を実施することが防除の「カギ」です

☆お問い合わせ先

【役場】

徳之島町農林水産課/82-1111

天城町農政課/85-5249

伊仙町経済課/86-3111

【農協】

徳之島事業本部糖業農政課/82-2020

天城事業本部糖業農政課/85-4

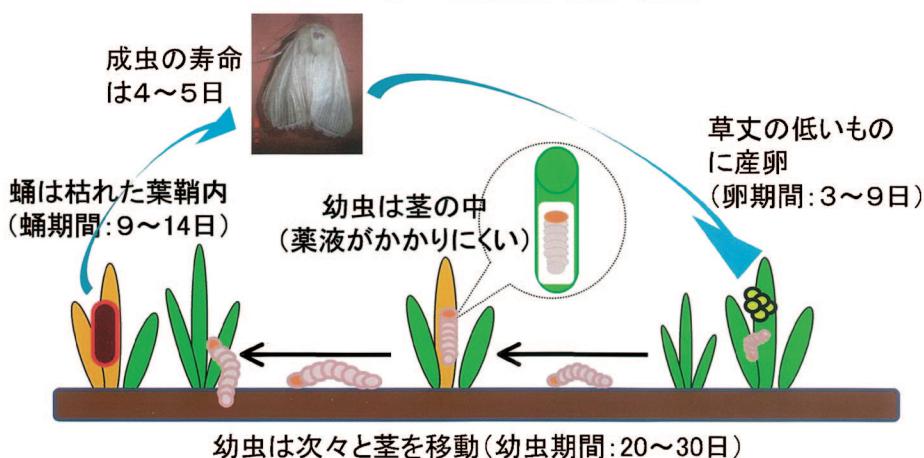
【南西糖業(株)】

平土野業務事務所/85-4712

伊仙業務事務所/86-3122

德和瀨業務事務所/82-1476

イネヨトウの生活中(模式図)



新春企画「巳（ハグ）の話」

東京大学医科学研究所奄美病害動物研究施設

准教授
服部
正策

正策

明けましておめでとうござります。新年なので、捕獲された数や毒の成分などのような生々しい話ではなく、ハブの色と模様の話をします。

混ざります。見る機会があればじつくり観察してみてください。
徳之島には100匹に1匹の割合で目の色が白いハブもいます。体色は普通のハブと同じで、お腹の色が少し薄いかなつという程度です。また5年に1匹くらいの割合で完全なアルビノ個体も捕獲されます。白ハブとか黄金ハブと呼ばれるものです。
写真はおめでたい紅白のハブにしました。



県立徳之島高校生物生産系
列の2年生では、地域の基幹
産業を理解させ、サトウキビ
農業に係る人材育成や、地域
リーダーの育成を目的とする
「サトウキビ学」の授業実習
の一環としてサトウキビの一
芽苗作りに取り組みました。
この授業は地域貢献や地域
との連携を深める事を目的と
しており、当日は徳之島高校
の農場に、役場、JA、共済
組合、当社などが組織する伊
仙町糖業部会関係者も協力し
約20名が一緒に汗を流しまし
た。



徳之島高校生が 一芽苗作り

今年も春植え応援します！

役場、JA、共済組合と当社で組織する三町の糖業部会では、キビ作農家の高齢化に伴う植付け作業の応援を実施しています。昨年の夏植え応援では、当社からも全従業員が参加し、3日間の作業で植付面積790a分の採苗・運搬と、280aの植付け応援を行いました。今期も工場の操業を休止した春植え推進期間が設定されており、応援作業を計画しています。



モクビヤツコウ

わきや島の宝



れ年々個体数が減少していま
す。

モクビヤツコウ(木白香)は
環境省RDBの絶滅危惧Ⅱ類
に指定されています。
悪石島以南の隆起サンゴ礁
に生育するキク科の常緑低木
で、全体に灰白色の短毛が密
生し、白っぽく見え、秋から
冬にかけて球形で黄色の花が
咲きます。